

食品に関するリスクコミュニケーション（東京） - 食中毒原因微生物のリスク評価案件の選定に関する意見交換会 -

に参加いただいた皆様へ

平成19年6月22日
内閣府食品安全委員会事務局

本日は、お忙しい中、意見交換会へご参加いただきありがとうございます。今後のリスクコミュニケーションをより実りある形で実施していくため、本日の意見交換会に関するアンケートを実施しています。以下の設問について、ご回答いただき、意見交換会終了後、受付に設置されている回収ボックスにご提出いただきますようお願い申し上げます。

問1. あなたご自身のことや食品の安全性に関するお考えについてお聞きします。以下の設問について、それぞれあてはまるもの1つを選んで番号を で囲んでください。

性別

1. 男性

2. 女性

年齢

1. 20歳未満

2. 20歳代

3. 30歳代

4. 40歳代

5. 50歳代

6. 60歳代

7. 70歳以上

職業（複数該当する方は、主なものを1つ選んで を囲んでください。）

1. 消費者団体（生活協同組合関係者 など）

2. 主婦、学生、無職

3. 畜産関係生産者

4. 水産関係生産者

5. 畜産・水産以外の生産者

6. 食品関連事業者・団体（加工、流通、販売 など）

7. マスコミ（新聞記者、カメラマン など）

8. 行政（自治体職員、独立行政法人等職員 など）

9. 食品関連研究・教育機関（教員、研究職員 など）

10. その他（具体的に：

）

本日の意見交換会開催をどこでお知りになったか（主なものを1つ選んで を囲んでください。）

1. 食品安全委員会のホームページ

2. 食品安全委員会からのご案内資料

3. 食品安全委員会メールマガジン（e-マガジン）

4. 関係団体からのご案内資料

5. 知人からの紹介

6. その他【

】

本日の意見交換会に参加された目的（複数該当する方は、主なものを1つ選んで を囲んでください。）

1. 食品安全委員会が自らの判断により食品健康影響評価を行うべき食中毒原因微生物に関する案件の選定について、情報を得たかったから。

2. 食中毒原因微生物の評価について、意見を言いたかったから。

3. 食中毒原因微生物の評価の結果、どのような施策がとられるのかを知りたかったから。

4. 専門家と直接意見交換をしたかったから。

5. 業務の一環として参加する必要があったから。

6. 国が行うリスクコミュニケーションの取組について知りたかったから。

7. その他【

】

裏面もご記入お願いいたします

本日の意見交換会は、でお答えいただいた、ご参加の目的に対して、どの程度満足できるものでしたか。

- 1. 十分満足できるものであった。
- 2. ほぼ満足できるものであった。
- 3. あまり満足できないものであった。
- 4. 全く満足できないものであった。
- 5. どちらでもない。

国民の食生活を取り巻く変化や、食の安全に関する国際的な考え方において、どんな食品にもリスクがあるという前提で食品行政においてリスク分析手法が導入されています。あなたは「100%安全な食品はないこと」について、どう思われますか。

- 1. 強くそう思う
- 2. ややそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 全くそう思わない
- 5. わからない

問2. 本日の意見交換会についてお聞きします。それぞれあてはまるところをで囲んでください。
意見交換会開催時期

- 1. とても適切だった
- 2. 適切だった
- 3. あまり適切ではない
- 4. 全く適切ではない

開催方法（参加手続き・場所・所要時間）

- 1. とても適切だった
- 2. 適切だった
- 3. あまり適切ではない
- 4. 全く適切ではない

配布資料

- 1. とてもわかりやすかった
- 2. わかりやすかった
- 3. わかりにくかった
- 4. 全くわからなかった

専門家による講演

- 1. とてもわかりやすかった
- 2. わかりやすかった
- 3. わかりにくかった
- 4. 全くわからなかった

パネルディスカッション

- 1. とてもわかりやすかった
- 2. わかりやすかった
- 3. わかりにくかった
- 4. 全くわからなかった

意見交換時の応答

- 1. とてもわかりやすかった
- 2. わかりやすかった
- 3. わかりにくかった
- 4. 全くわからなかった

意見交換会全体

- 1. 評価する
- 2. おおむね評価する
- 3. あまり評価しない
- 4. 全く評価しない

次ページもご記入お願いいたします

問3 . 食品安全委員会が自らの判断により実施する食中毒原因微生物のリスク評価の優先順位が高いとされた4つの案件のうち、鶏肉を主とする畜産物中のカンピロバクター・ジェジュニ/コリから評価を始めることについて、どう思われますか。下記から1つ選んで をつけてください。

- 1 . 現在、評価を実施するのに十分な情報のあるカンピロバクター・ジェジュニ/コリから評価を始めるべき。
- 2 . 評価を実施するのに十分な情報がそろわないのを待って、同時に4つの案件の評価を始めるべき。
- 3 . 今日の意見交換会からは、判断できないと思う。
- 4 . わからない。
- 5 . その他 ()

問4 . 今回の意見交換会は、食品安全委員会が自らの判断により食品健康影響評価を実施するに当たり、関係者の皆様と意見交換をするというものです。このように評価を始める前に意見交換会を実施することについてどのように思われましたか。下記から1つ選んで をつけてください。また、2の場合の理由やご意見などありましたら、自由記入欄にご記入下さい。

- 1 . この段階での開催は、適切だと思う。
- 2 . この段階での開催は、適切ではない。

自由記入欄

問5 . 以下の食品安全委員会の取組みのうち、ご存知のものあるいは利用したことのあるものを全て選んで、 をつけてください。

- 1 . 委員会、専門調査会の傍聴が可能なこと（原則公開されていること）
- 2 . 食品安全委員会ホームページ（<http://www.fsc.go.jp>）
- 3 . 食の安全ダイヤル（食品の安全性についての情報提供やお問い合わせ、ご意見を受付ける窓口）
- 4 . 食品安全委員会メールマガジン（e-マガジン）
- 5 . 食品安全モニター制度
- 6 . 季刊誌『食品安全』
- 7 . 食品の安全性に関する用語集
- 8 . 食品の安全性に関する政府広報
- 9 . その他【 】

裏面もご記入お願いいたします

問6．食品の安全性を確保していく観点から、意見交換会などのリスクコミュニケーションで取り上げるテーマはどのようなものを希望しますか。当てはまるものを3つまで選び、番号に をつけてください。

- | | | |
|----------------------------|-------------------------|-----------------------|
| 1) 食品添加物 | 2) 残留農薬 | 3) 食品中に存在する汚染物質・化学物質 |
| 4) 遺伝子組換え食品 | 5) 動物用抗菌性物質 (いわゆる抗生物質) | 6) B S E |
| 7) 食中毒 (微生物・ウイルス・かび毒・自然毒) | 8) 鳥インフルエンザ | |
| 9) 新開発食品 | 10) いわゆる健康食品 | 11) リスクコミュニケーション |
| 12) リスク分析の考え方 | 13) 食育 | |
| 14) その他【 | | 】 |

問7．上記で選択したものを含め、会全体を通してご意見や感想がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。